

2019年度 愛知学泉大学シラバス

| 科目番号 | 科目名 | 担当者名 | 基礎・専門別 | 単位数 | 選択・必修別 | 開講年次・時期 |
|---------|------------------------------------|-------|--------|-----|--------|---------|
| 2201213 | 服飾文化論 Cultural Study of Clothes | 平岩 暁子 | 専門 | 2 | 必修 | 3年 前期 |

科目の概要

衣生活は、各地の文化や宗教などによりそれぞれ特徴を持つ形が育まれ発展してきた。また温湿度等の環境にも大きく影響されている。そのような背景をふまえながら、健康で快適な衣服とはどのようなものかを考える。身体的快適と心理的快適の両面から捉えていく。衣生活において配慮の必要な高齢者や障がい者の衣服の快適性についても考える。三河地方での繊維産業の歴史についても触れる。

| 学修内容 | 到達目標 |
|---|--|
| ①各地の環境と衣生活の関わりについて知る。 ②人間の体温調節と衣服の役割について知る。 ③人体の動きと衣服圧、着心地の関係について知る。 ④衣服着用では身体的快適と心理的快適があることを知る。 ⑤高齢者や障がい者の衣服について考える。 | ①環境や文化の違いが衣生活に大きく影響していることを理解している。 ②人間の体温調節のメカニズムと、衣服の役割について説明できる。 ③人体の動きと衣服圧、着心地の関係について説明できる。 ④衣服着用の身体的快適と心理的快適の両方が大切であることを理解できる ⑤高齢者や障がい者にとって快適な衣服を提案できる。 |

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

| | | |
|---------|-------------|---|
| 前に踏み出す力 | 主体性 | 課題を理解するのに必要な知識について、配布プリントを読み、文献等を調べて、自分で学修ができる。 |
| | 働きかけ力 | |
| | 実行力 | 必要な学修の内容や方法を自分で考えて、目標のレベルまで到達できる。 |
| 考え抜く力 | 課題発見力 | プリントや文献等を読み、情報を整理して衣服に関する課題を発見することができる。 |
| | 計画力 | |
| | 創造力 | 各地域の衣生活についてさまざまな面から考え、自分なりの答えを導き出すことができる。 |
| チームで働く力 | 発信力 | 整理した内容を、的確な文章で表現し、ディスカッションできる。 |
| | 傾聴力 | 発言者の意見を正確に理解し、自分の考えもまとめることができる。 |
| | 柔軟性 | |
| | 状況把握力 | |
| | 規律性 | 無断欠席、遅刻、授業中の居眠りや私語、携帯電話を触るなどをせず、ルールを守った行動ができる。 |
| | ストレスコントロール力 | |

テキスト及び参考文献

テキスト：プリントを適宜配布する。

参考文献：『アパレルと健康』、平岩暁子他、井上書店、(2012)

『新版アパレル構成学』、高橋知子他、朝倉書店、(2012)

他科目との関連、資格との関連

「ファッション造形学」「被服実習」での学習をもとに、より広い視点から衣生活について考える科目である。

| 学修上の助言 | 受講生とのルール |
|--|---|
| 毎回小テストを行うので、ノートを整理し内容を理解する。人体と衣服の快適性の関係をいつも考えながら講義を聞くこと。 | 授業で配布する資料の予備は、次週まで保管する。授業内容の小テストを次週実施するので、毎回復習しておくこと。 |

【評価方法】

| 評価方法 | 評価の割合 | 到達目標 | 各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント | |
|------------------|-------|------|---------------------------------|---|
| 筆記試験 | 70 | ① | ✓ | <ul style="list-style-type: none"> ・環境や文化の違いが衣生活に影響していることを説明できるか。 ・人間の体温調節のメカニズムと、衣服の役割について説明できるか。 ・人体の動きと衣服圧、着心地の関係について説明できるか。 ・身体的快適と心理的快適について説明できるか。 |
| | | ② | ✓ | |
| | | ③ | ✓ | |
| | | ④ | ✓ | |
| | | ⑤ | | |
| 小テスト | 10 | ① | ✓ | 毎回の小テストでは、その授業時間に扱った内容を、十分に理解できているかどうかを確認する。 |
| | | ② | ✓ | |
| | | ③ | ✓ | |
| | | ④ | ✓ | |
| | | ⑤ | | |
| レポート | | | | |
| 成果発表 (口頭・実技) | 10 | ① | ✓ | 高齢者や障がい者のための着やすい衣服を考え、発表する。 |
| | | ② | ✓ | |
| | | ③ | ✓ | |
| | | ④ | ✓ | |
| | | ⑤ | | |
| 作品 | | | | |
| 社会人基礎力 (学修態度) | 10 | ① | ✓ | (規律性)・受講態度(遅刻、欠席、私語、居眠り、携帯を触るなど)は減点する (主体性)・出席、授業中の興味関心、意欲を評価する。 (実行力)・目標まで到達しようという努力の姿勢を小テストで評価する。 (課題発見力)・衣服に関する課題を発見できているか、授業態度で確認する (創造力)・自分なりの方法を考え、実行しているか、授業態度で確認する。 (発信力)・グループディスカッションで内容を確認する。 (傾聴力)・授業態度やグループディスカッション、発表の聴講態度などで確認する。 |
| | | ② | ✓ | |
| | | ③ | ✓ | |
| | | ④ | ✓ | |
| | | ⑤ | | |
| 総合評価割合 | 100 | | | |

【到達目標の基準】

| 到達レベルS(秀)及びA(優)の基準 | 到達レベルB(良)の基準 |
|--|--|
| 環境の変化と人間の体温調節のメカニズム、衣服の役割について、人体の動きと衣服圧、着心地の関係について正確に理解している。身体的快適と心理的快適について説明できる。高齢者や障がい者の着やすい衣服を提案し、自分の言葉で説明ができる。 ※上記に対し極めて高い評価が与えられると判断された場合、S(秀)とする。 | 環境の変化と人間の体温調節のメカニズム、衣服の役割について、人体の動きと衣服圧、着心地の関係について分かる。身体的快適と心理的快適についておおよそ説明できる。高齢者や障がい者のための着やすい衣服を考えることができる。 |

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベルC(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|------|--|---------------|---------------------------------------|---|-------|---------------------|
| 1週 / | 人はなぜ服を着るようになったのか。世界各地の環境に適応してきた衣服を考える。 | 講義 | 各地の環境と衣服の形態の関係が分かる。 | (予)シラバスを読み内容を把握しておく (復)環境と衣服の形態の関係をまとめる | 120 | 主体性 実行力 課題発見力 |
| 2週 / | 人の体と体温調節 温度変化のある環境の中で人はどのように体温をキープしているかを知る(産熱と放熱のバランス)。 | 小テスト 講義 | 体温調整のメカニズム、産熱と放熱のバランスが分かる。 | (予)小テストの準備 (復)体温調整のメカニズムのまとめをする。 | 120 | 主体性 実行力 課題発見力 |
| 3週 / | 寒い環境に適した衣服、暑い環境に適した衣服の条件。 衣服内気候:衣服は持ち運べる小さな環境と考えてみる。 | 小テスト 講義 | 衣服内気候について分かる。 | (予)小テストの準備 (復)衣服内気候のまとめをする。 | 120 | 主体性 実行力 課題発見力 |
| 5週 / | 衣服の水分特性 体から出ている水分と衣服の水分特性、着心地との関係を知る。運動時の衣服の快適性。 | 小テスト 講義 | 体から出る水分と衣服の水分特性について分かる。 | (予)小テストの準備 (復)体から出る水分と衣服の水分特性についてまとめをする。 | 120 | 主体性 実行力 課題発見力 |
| 6週 / | 衣服の保温性 クロー値について考える。自分の着ている衣服の保温性を調べる。ヒートテックはなぜ暖かいのか。 | 小テスト 講義+演習 | 衣服の保温性の指標の一つとしてクロー値を理解する。 | (予)小テストの準備 (復)体から出る水分と衣服の水分特性についてまとめをする。 | 120 | 主体性 実行力 課題発見力 |
| 7週 / | 衣服による身体圧迫 ヨーロッパでのコルセット、中国の纏足などの歴史について。現代生活での身体圧迫。 | 小テスト 講義 | 衣服による身体圧迫の歴史について分かる。 | (予)小テストの準備 (復)衣服による身体圧迫の歴史についてまとめる。 | 120 | 主体性 実行力 課題発見力 |
| 8週 / | 人体の動きと衣服圧 タイトスカート着用時の衣服圧。フィット性と動きやすさ、着脱のしやすさを考える。 | 小テスト 講義 | 人体の動きと衣服圧、フィット性と動きやすさ、着脱のしやすさについて分かる。 | (予)小テストの準備 (復)人体の動きと身体圧迫についてまとめる。 | 120 | 主体性 実行力 課題発見力 |

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベルC(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|-------|--|------------------------|--|---|-------|--|
| 9週 / | 皮膚の清潔と健康 衣服による皮膚障害。肌にやさしい衣服を考える。 | 小テスト 講義 ディスカッション | 皮膚を清潔に保つ事の重要性と、衣服による皮膚障害について分かる。 | (予)小テストの準備 (復)皮膚の清潔と健康についてまとめる。 | 120 | 主体性 実行力 課題発見力 発信力 聴講力 |
| 10週 / | 日本における衣服のあゆみ 形態や素材の変化を考える。 三河木綿など、この地域で発展した繊維産業について知る。 | 小テスト 講義 ディスカッション | 三河地方の繊維産業について知る。 | (予)小テストの準備。 繊維産業に携わっていた人からの話を聞いてくる。 (復)三河地方の繊維産業についてまとめる。 | 120 | 主体性 実行力 課題発見力 発信力 聴講力 |
| 11週 / | 進化する衣服 さまざまな機能を持たせた最新の衣服。スマートテキスタイルを知る。 | 小テスト 講義 | さまざまな機能を持つ衣服があることを知る。スマートテキスタイルを知る。 | (予)小テストの準備 (復)進化しているさまざまな衣服についてまとめる。 | 120 | 主体性 実行力 課題発見力 |
| 12週 / | おしゃれの心理的効果 おしゃれをすると気分が上がるのはなぜ？ストレスホルモンとの関係。 | 小テスト 講義 | 心理的な快適が分かる。 おしゃれの効果を理解する。 | (予)小テストの準備 (復)おしゃれの心理的効果についてまとめる。 | 120 | 主体性 実行力 課題発見力 |
| 13週 / | 着心地がよくおしゃれな衣服 高齢者や障がい者にとって着やすい衣服を考える。 | 講義 グループディスカッション | 高齢者や障がい者の身体的特性が分かる。どのような衣服への配慮が必要か考える。 | (予)まわりにいる高齢者や障がい者に、衣服の話聞いてくる。 (復)衣服への工夫を具体的に考える。 | 120 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 聴講力 |
| 14週 / | 高齢者や障がい者の衣服を着やすくするには、どのような工夫をしたらよいか。 リフォームの方法を考えてみる。 | グループディスカッション+演習 | 高齢者や障がい者の衣服への工夫を考え、リフォーム等できる。 | (予)衣服の工夫に必要な材料を準備してくる。 (復)衣服の工夫を完成させる。 | 120 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 聴講力 |
| 15週 / | 高齢者や障がい者にとって着やすく工夫した衣服を発表 | 発表 ディスカッション | 高齢者や障がい者にとって着やすい衣服を発表する。これまでの振り返りと考察をする。 | (予)発表の準備をしてくる。 (復)これまでの振り返りと考察をする。 | 120 | 主体性 実行力 課題発見力 発信力 聴講力 |

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力